



# 議会だより



## お祭りは子供も大人も一生懸命 いきいきサロン「牡丹」主催夏まつり

### 議 会 日 誌

平成 24 年 4 月 ~ 6 月

- |          |   |         |  |
|----------|---|---------|--|
| 4 月 17 日 | 三重県町村議会議長会理事会 (津市)                                  | 25 日    | 全員協議会  |
| 18 日     | 池原ダム・風屋ダム現地見学会 (下北山村・十津川村)                          | 30 日    | 熊野川河口に橋を架ける会理事会・総会 (新宮市)                                       |
| 26 日     | 熊野川流域ダム湖下流団体協議会定期総会 (新宮市)                           | 31 日    | 紀宝バイパス建設促進等要望・提言活動<br>(紀勢国道事務所、三重県庁、中部地方整備局、国土交通省)<br>[6月1日まで] |
| 5 月 8 日  | 教育民生常任委員会町立小中学校視察                                   | 6 月 4 日 | 議会運営委員会<br>熊野川流域対策連合会理事会・総会 (新宮市)                              |
| 9 日      | 議会運営委員会   | 5 日     | 熊野川河口大橋建設促進議員連盟理事会・総会 (新宮市)                                    |
| 10 日     | 紀宝バイパス対策特別委員会                                       | 8 日     | 災害復興対策特別委員会、環境保全対策特別委員会  |
| 14 日     | 国道169号線改良促進連絡協議会総会 (熊野市)<br>熊野尾鷲道路建設促進期成同盟会総会 (熊野市) | 12 日    | 第2回定例会・第1日目、議会運営委員会  |
| 15 日     | 熊野川河口に橋を架ける会要望・提言活動 (国土交通省)                         | 13 日    | 第2回定例会・第2日目  |
| 18 日     | 石川県中能登町・三重県紀宝町友好交流会議                                |         |  |
| 24 日     | 教育民生常任委員会   |         |  |

# 6月定例会

# 一般質問

(要約)



高垣 操 男 議員

- ・災害復旧対策について
- ・防災対策について
- ・公立学校施設の防災機能の強化について

## 災害復旧対策

議員

梅雨時でいつ大雨が来るかも分からないと思いついて、災害に遭った地域の避難路、避難所の進み具合は。

### 防災担当理事

台風12号紀伊半島大水害で災害に遭った地域の整備状況についてお答えさせていただきます。特に相野谷川筋ですが、避難路につきましては、鮎田地区、大里津本地区、井内地区等からご要望をいただいております。その後、要望に沿って事務局としては、現段階で地元の自主防災の役員

平成24年第2回紀宝町議会定例会は6月12日に開会しました。

第1日目は、初めに、議長報告と各委員会委員長報告があり、次いで、町長から、第1回定例会以降の町行政各般にわたる報告がありました。その後、工事請負契約の締結案件2件を可決し、一般質問が行われ、第2日目の13日にわたり、6人の議員が質問に立ち、諸課題について、当局の取り組みと考え方を質しました。

引き続き、農業委員会委員を推薦した後、議案審議に入り、専決処分の案件7件を承認し、条例の一部改正案件4件、後期高齢者医療広域連合規約の一部変更案件1件、平成24度一般会計補正予算案件、並びに井内地域開発事業特別会計補正予算案件をそれぞれ可決。続いて、意見書2件を可決し、閉会しました。

## 防災対策

議員

今回、我が党としても東海・東南海・南海地震がもういつ来ても不思議ではないという立場から、東海防災・減災力UPプロジェクトを立ち上げました。先日松阪と四日市で河口教授をお招きして地域防災・減災ミーティングを行いました。紀宝町でもまなびの郷をお借りして、地域防災・減災ミーティングを行います。住民のさらなる意識向上を図るため、今回、公明党として災害時に役立つ情報を網羅した「防災手帳」を作成し、地域の人に配布しております。少しでも家庭で地域で話し合うなかで、意識の向上が図れるのではないかと思います。これに対して担当課の考えをお聞かせください。

### 防災担当理事

防災手帳については、非常に必要なことであると前々から認識しております。町としても、手帳ではありませんが、三重県が製作しています「地震・風水害から身を守るガイドマップ」を参考にし

## 公立学校施設の 防災機能強化

て、住民の方に必要性について周知しているところですが、各地区の防災訓練等ではこの冊子をお配りしています。この冊子については、災害を知ること、災害に備えること、災害が発生した場合の行動等について集約しています。その中で特に、防災訓練等で住民の方にお願ひしていることは、災害に対して備えていただきたいというところで、災害への耐震対策等も必要ですが、災害時の非常持ち出し品のチェック表や、避難経路等の確認等について、いつも心掛けていただきたいと思います。今後につきまして、この冊子と同様の中身になるかと思いますが、自主防災等と相談しながら、分かりやすいものができればその方向で進めますし、これでよければこの冊子、手帳等について、周知させていただきますと思います。

### 議員

学校の耐震化について、成川小学校が完成すれば耐震化が全部できるわけですね。

### 教育課長

そうです。すべて耐震化です。

### 議員

非構造部材の耐震化が必要ではないか。

### 教育課長

平成24年度より、国は学校施設等の防災機能の強化策としまして、既存施設の補強、地震から児童生徒等の生命・身体の安全を確保する耐震化事業、及び地域の避難所機能としての不可欠な防災対策事業を創設いたしました。この補助制度の工事内容は、建築非構造部材の耐震化工事として、天井材等落下防止工事や、設備機器の移動・転倒防止工事、児童生徒等の安全を確保する上で必要な工事となる避難経路や外階段の設置工事、手すり等の設置工事となっております。対象は学校敷地内に限りますが、いろいろな工事内容が創設されまし

た。県における防災機能強化事業としての補助事業としましては、防災機器等の整備、備品等の転倒落下防止対策、ガラス飛散防止対策などとなっております。学校に内容もすべて伝えて、学校としてどういう工事が必要なのかということ、今、協議をしております。教育委員会のほうへ6月中旬に上げてもらうというかたちで、いろいろ取り組みさせてもらっております。

※この他に、節電対策について質問がありました。



榎本 健治 議員

## ・全国学力・学習状況調査について

## ・国旗・国歌の取り組みについて

## 全国学力 学習状況調査

### 議員

大切な紀宝町の子どもたちの児童生徒の学力の向上について、子どもたちは町の宝です。復興においても、何をしても子どもたちのことは最優先すべきです。紀宝町の未来を担う子どもたちに関することで災害や大人の都合でしわ寄せすることがあってはなりません。子どもたちの学力の向上は地域を担う大切なこととです。子どもたちが大人になつたときに課題を解決していくためには基礎学力が絶対に欠かせません。全国学力学習状況調査は決して競争をおおるものではなく、子どもたちの抱える課題を把握し、それをしっかりと改善するための方策を立て、解決し、対応するということ意味で有効な手段だと思います。そこで3月議会

で災害のため不参加とした教育長の答弁を受けて、急きよ臨時校長会が開かれることになりました。臨時校長会での話し合いや状況をお聞かせください。

### 教育長

私どもは決して不参加ではなくて、抽出に当たらなかつた学校が希望しなかつた。その後の状況は、管理職をはじめ退職者を含んで教職員の年度末の人事異動があり、それぞれの学校は新たな気運の中で平成24年度のスタートを切っております。

### 議員

鶴殿、成川、神内、相野谷小学校が希望せず、4月17日に行われた学力学習状況調査には不参加だったということで、私は大変残念で仕方ありません。学力調査の結果は7月頃に出るということで、今年度は鈴木英敬三重県知事の教育に対する思いもあり、三重県下で99・1%という高い数字が出ております。紀宝町が今後調査結果を県に上げて、共に学力向上に連携してほしいと思うが。

### 教育長

私どもは三重県教育委員会のなかの管轄と考えておりますので、連携を取りながら、指導を仰ぎながら町内の子どもの学力向上にあたって

### 議員

紀宝町の調査結果状況を順位は別にして、点数なども県に報告して連携を取っていたきたいと思うが。

### 教育長

あえてこちらのほうから個々の学校の状況を、県へ上げるまでもないのではないかと思います。

### 議員

調査結果を県に上げて連携しないのか。三重県では98校の実践指定校を指定して、学力向上アドバイザーの派遣を通じて授業改善など細かな助言や非常勤講師の派遣、分析支援ツールの作成や授業や家庭学習でも活用できるワークシートの作成。さらには大学とも連携して、調査結果を分析して具体的な授業改善例を示していくとされる。市町から県に学力状況を提供して、紀宝町はどういった分野が弱いと、的確に連携してほしい。調査結果を県へ上げて連携してください。

### 教育長

必要なのではないかと答弁させてもらいましたが、上げないということではありません。

### 議員

来年度の学力量習状況調査について紀宝町の参加の考えは。

### 教育長

校長会等で来年度は受ける」と表明しております。新体制になっていきますが、同じ方向であると認識しております。

### 議員

参加を希望していくということか。

### 教育長

そのとおりです。

## 国旗・国歌の取り組み

### 議員

わが国の国旗である日章旗と国歌である君が代はいずれも長い歴史を有し、歴史的にみてもすでに慣習として定着し、法制化がなくとも国旗・国歌への敬愛は当然です。私はさらに日章旗の歴史や君が代の由来、歌詞についても、より理解を深める教育の徹底が必要だと考えます。公立学校では現在どのような取り組み状況か。

### 教育長

学習指導要領に基づいて学

校教育が行われており、国旗国歌につきましてもは、社会・音楽・特別活動のなかにきち」と規定されております。

### 議員

行政では現在どのような取り組み状況になっているのか。

### 総務担当理事

住民の皆様などに対する特段の施策は実施しておりませんが、国民の祝日には庁舎に国旗である日章旗を掲げると共に、各種の式典では君が代の斉唱を行っております。

### 議員

私は日常から国旗を掲げて、地域において国旗設置推進自治体として取り組んでほしい。日本の歴史認識を子どもたちにして誇りを持って、日本人として誇りを持って、日章旗を、公共施設を通じて行なってほしい。そこで、6月14日に三笠宮寛仁親王殿下の斂葬の儀（葬儀）には行政機関と学校を含めて半旗を掲げていたいただきたいと思いますが、教育長・行政の考え方を伺います。

### 教育長

現在のところ、考えておりません。文科省等から指示等があれば、従っていかなければならないと思っております。

### 総務担当理事

まだ国からそのような指導がありませんので通常と考えております。指導がありましたら、それに従わせていただきます。

### 議員

国旗・国歌について日本の歴史認識をしっかりと子どもたちに、通常目に触れる場所で、教育していくことが私は大切であると思います。特に間違った歴史認識などは決して教えてはいけません。尖閣諸島の領土問題を始め、民主党政権後は外交力の弱さから次々と諸外国から自分たちの領土であるという主張を繰り返されていく。今大切なことは日本人として、日本に誇りを持っていくような教育をしていただくことを強く要望いたします。

※この他に、スポーツ振興について質問がありました。

※榎本議員の一般質問については、本人のホームページに掲載しています。

(<http://www.enomotokenji.com/pan.htm>)



原 章三 議員

- ・西田町長の政壇勢について
- ・ダム問題について
- ・熊野川河床砂利撤去と輪中堤について
- 他

## 町長の政治姿勢

### 議員

今日、国論を大きく二分させている問題は消費税10%増税、大飯原発再稼働がクロージアアップされています。特に消費税増税については紀宝町においてもこれからの復旧、復興には大きな妨げになるだけでなく、経済活動においても支障をきたすものと考えますが町長のお考えを伺います。

### 町長

政権交代した民主党のマニ

フェストからは消費税の値上げは見えてまいりません。国の財政赤字と社会保障制度は危機的な状況にあるが、今回の法案は国民に大きな痛みを求めるものでございます。また、当地域では県内でも所得水準が低く、年金生活者の日常生活に影響を及ぼすものと考えます。

#### 議員

野田首相はこの消費税増税分を全額社会保障に使うと言っているが、先の国会で7兆円は財政赤字の穴埋め、公共事業、防衛予算に使う、このように答弁しています。全くまやかしの答弁です。今、日本経済は全く先行きの見えないうなかで、消費税増税は消費の低迷、中小零細企業の倒産を招き日本経済を奈落の底に突き落とすものと考えます。

## ダム問題

#### 議員

6月4日公表されたダム検討委員会中間報告について町長の考えをお伺いします。

#### 町長

ダムの治水的利用について

は、野田首相、各大臣、各政党に要望してきました。電源開発も放流量について検討していたので、一歩進めていただいたものですが、地域全体を考えたとき、あれだけ大きなダムを治水的活用をしていただくことで、減水、減災効果にもつながっていくものと考えます。今後、粘り強く、力強く治水的利用について要望、提言をし、実現に向けて努力してまいりたいと思っております。

#### 議員

中間報告で池内秀一京都大学名誉教授は「発電専用ダムの治水への協力は相当なものだ」と褒めたたえています。しかしあの台風12号で新宮市では死者13名、行方不明1名、紀宝町でも死者1名、行方不明1名という尊い命を失いました。今回の報告が尊い命の代償に値するものか、私は非常に不満を覚えるものです。また、台風6号では水田が大きな被害を受け、紀宝町では減収量1283俵、共済支払い金が1540万円になっています。このような被害を中間報告は踏まえているのか、電源開発、国交省との話

し合いの場を持ってもらいたい。  
**産業建設課長**  
河川管理者も含めてそういう場を持つように調整していきたく思っています。

## 熊野川河床砂利撤去と輪中堤

#### 議員

熊野川河川掘削、輪中堤について2月から地元説明会を各地域で行ってきたが、その後、国交省から具体的な報告があったのかお伺いします。

#### 特別参与

河川激甚災害対策特別緊急事業による熊野川の河道掘削については、今後の進め方について調整がなされている状況です。また工事周知を三重県側・和歌山県側、同時期に周知できるように調整を進めていくと聞いております。相野谷川の輪中堤関係につきましては、引き続き地域住民の意見を丁寧に聞いて災害復旧を進めてまいります。

#### 議員

今日、多くの地域の方の声として、高岡清水団地については居住し安全な生活をする

地域ではない。9・4層嵩上げした場合、上流地域の水位がさらに上がることになる。嵩上げて何人の人が居住するのかわからないのに、なぜ莫大なお金をつぎ込むのか。新たな高台に移転してもらおうのがベターな方法ではないのか。是非、国交省に意見を反映してもらいたい。今後、同じことを繰り返すのでは、紀宝町の将来に大きな禍根を残すことになると考えます。10年、20年先を見通して安心、安全な町をつくっていくことを要望します。

## 深田グラウンド土砂撤去

#### 議員

深田グラウンド土砂について早期に撤去してほしいという声が多い。今後の計画はどうなっているのですか。

#### 産業建設課長

土砂処分場につきましましては、北桧杖地内で地権者の方々と交渉中で、1万3千立方メートルの土砂搬入が可能です。仮置き土砂については、すべて処分できるものと考えてい

ます。早急に撤去を進めてまいりたいと考えています。

## 大里親水公園工事計画

#### 議員

大里親水公園の公園側水路は90センチの土管で流すようになっているが、洪水時にはとても対応できない。河床が約5メートルあるので、それくらいまで広げることができないのかお伺いします。

#### 住民サービス担当理事

河川工学上の問題もあると思いますので、専門の先生方にも相談をして将来的なことを検討してまいりたいと考えています。現時点では原形復旧が原則です。

※この他に、農地堆積土砂撤去の進行状況、今後の土砂捨て場対策について質問がありました。



西村 喜久男 議員

- ・台風災害の復旧について
- ・耕作放棄地対策について
- ・獣害対策について
- ・少子化対策について

## 台風災害の復旧

議員

災害の査定も終え、入札された箇所の工事も始まり、復旧・復興に向けての取り組みがようやく目に見えてきておりますが、個人の農地の土砂崩れが広範囲であり、今後、家屋への危険が及ぼす恐れのある箇所について急を要することだと思えます。なんとか急傾斜対策などの復旧支援に取り組みむことも必要かと思えますが、どのようにしておりますか。

産業建設課長

個人農地の災害復旧事業については、営農されている農地であり工事費40万円以上は、個人負担はかかりますが災害復旧事業の採択となります。営農されていない農地等については採択されない状況です。また、急傾斜対策の事業には採択要件があり、例えば傾斜度30度以上、崖高5m以上、被災対象家屋5軒以上などの要件があり、なかなか難しい面もあります。

議員

高齢者の方、身寄りの無い方や、金銭面で個人的に復旧の困難な農地の土砂崩れに対する支援についてどのようなお考えですか。

町長

災害復旧は基本的には復元をし、元の生活を取り戻していただくことに向けて町として努力してまいります。しかし、県の事業においても、また農地災害、河川災害等においてもルールを壊してしまうと公平さを失ってしまうことになりかねませんので、できる部分についてはしっかりと対応してまいりたいと思っておりますが、できない部分について

では、個人的にご努力をいただくことが必要になってくるかと思えます。

議員

災害を受けた住民の方のご意見を聞き、相談に乗っていただいで、できる限りの対応をしていただきたいと思えます。

## 耕作放棄地対策

議員

今回の甚大な台風災害発生で耕作放棄地の増加、進行が心配されます。また、農業の高齢化、後継者問題など、この台風災害の復旧・復興とあわせて、なんとか国の交付金等を検討、活用していただくように、災害復興プロジェクトでの取り組みについてのお考えはどうですか。

産業建設課長

プロジェクトチームの中で具体的なところまでいってはいませんが、いろんな情報を周知して、補助金、交付金の活用についても視野に入れ検討していきたいと思っております。

町長

台風の大変な被害を受けたことで、これからの耕作意欲の部分について、大変心配しておりますが、農業委員の皆さま方のご努力で、復旧・復興についての強い思いがあることもわかっております。町としてもそれらと合わせ、ライスセンター等含め、しっかりと対応を考えていく必要があると思っております。これからの復旧・復興においては、災害等の状況を踏まえたなかで、ご指摘のように適正な耕作地域地を確保していくのも大変大事なことだと思っております。

## 獣害対策

議員

獣害による耕作意欲の低下で放棄地の増加も心配されます。電気柵ネットなど町で取り組んでいただいで大きな効果が出ております。しかし、小規模農地、個人農地、特にお年寄りの畑などへの被害の増加が懸念されています。その方たちへの獣害対策支援の取り組みはどのようにお考え

ですか。

産業建設課長

獣害対策は地域の課題であるとの認識を持ち、みんなで取り組み地域・生活活動を推進することが必要と考えます。獣害防除用資材等を購入する農業者に対して、平成20年10月より補助金を支給しておりますが、利用者が少なく、制度を見直しもつと利用しやすいものとし、広報等により情報提供していきたいと考えております。

議員

猟友会の方にご協力いただき駆除していただいでおりますが、車のステッカー、腕章の作成をし、つけていただき、地域を回っているときに啓発していただくことも必要だと思えますがいかがですか。

特別参与

以前、三重県から腕章を支給されていましたが、現在は支給されていません。今後、紀宝町という形で腕章等をつけていただくように猟友会の方とも検討していきたいと考えております。

## 少子化対策

議員

少子化対策の一つとして、出産祝い金の増額のお考えはありませんか。

福祉課長

現時点では、祝い金の増額は考えておりませんが、引き続き持続可能で効果的な支援が行えるよう検討してまいりたいと考えています。

議員

低年齢、0歳児保育について、紀宝町においても検討していただく段階から実施していただくところに来ているのではないのでしょうか。

町長

0歳児保育については、これまでお答えさせていただきました。しかし、これからの社会状況踏まえたときには、ご指摘のようにも十分検討していくべき課題かなと思っておりますので、今後十分検討してまいりたいと思います。

議員

少子化対策等の子育て支援も含め、0歳児保育を是非やっていたらいいと思いません。

※この他に、生活保護費支給について質問がありました。



平野 美津子 議員

- ・町長の政治姿勢について
- ・平成24年度予算について
- ・防災拠点施設の建設について
- ・中学校卒業までの医療費の無料化について

## 町長の政治姿勢

議員

全国市議会議長会事務局で勤務されていた加藤幸雄氏の著書の、憲法に保障された「国民は主権者である」という立場で書かれた本に「二元代表制のもとで市町村議会は主権を有する住民から直接選挙され、住民を代表する正当性を持つ議員で構成される合

議体である。この市町村議会が同様に主権を有する住民から直接選挙され、住民を代表する正当性を持つが、独立体であり独善に陥りやすく、日常行政を執行するなかで優位になりがちな市町村長を抑制、監視することは民主的な役割を持つといえます」と書かれています。

12号台風の被害から人命や住民の財産を守るため、今、大切なのは何かお訊ねします。

町長

台風災害、三連動地震等に対して、しっかりと防災・減殺体制を構築して、町民皆さま方の安心安全を確保していくことが最大の課題であろうと思っております。

議員

被災してから町民どのように向き合ったかお聞きしたいわけです。町長はあり方検討会がもたれる前に高岡の輪中堤を埋めるという話を住民にしています。紀宝町からそのような話を出したのではな

町長

相野谷川沿川における災害復旧のあり方に関する協議会で地域住民の皆さん方のご意見も出させていただき議論するなかで、災害復旧のあり方骨子案を決めさせていただいて、各地区に出向いて説明会を開催させていただきました。説明会の状況等を踏まえて、地域の皆さま方のご意見を拝聴するなかで相野谷川周辺の災害復旧のあり方をさらに良い形の中で構築していくことが大事ではないかと思っております。少しでも安全度を高めるなかで、これからの生活を送っていただける環境づくりをしていくのも我々の責務ではないかと思っておりますので、地域の皆さま方と十分協議しながら進めてまいりたいと思っております。

議員

国交省や県と話し合う前に住民の被災者ときっちり話を詰めることが町長の姿勢として必要だと思います。昨年の9月から今、6月まで、かなりの時間が経っています。住民と膝を突き合わせて何回も話し合い、地域の復興をどの

ようにしていくのか、協力し合っていかなければいけないと思います。住民も出せる力を出して、紀宝町を復興するのは当然です。住民ときちんと話し合いをしないでどんどん進めていったり、役場に5階建ての防災拠点施設を造るというのも3月議会でお聞きしたときに何人でそれを決められたのですかと聞きました。お答えがありませんでした。そんな状況で住民が安心して災害復興、防災対策を任せられないと思います。住民の意見をどのように吸収するのですか。地域に出向いて理解してもらう体制作りが大事である。住民の納得のいくプロジェクト作り、防災拠点施設建設、行政がやりたいことをきちんと周知徹底して理解してもらうことが必要ではありませんか。

町長

議員おっしゃるとおりだろうと思えますので、広報等を通じて皆さま方にもご理解いただくなかで鋭意努力してまいりたい。町民の皆さま方の方を、希望は大変大事になってきます。十分配慮しながら真摯に受け止め努めていき

と思います。

**議員**

住民の意見を聞く手立ては、どのようにされるのですか。

**町長**

町民参加の検討委員会を作つて皆さま方の意見を幅広くお聞きするなかで、安心安全な防災拠点施設の建設に取り組んでまいりたい。

**平成24年度予算**

**議員**

平成24年度予算は議会において2名の賛成討論と1名の反対討論、私ですが、防災拠点施設は、もつと検討すべきであるという理由で反対させていただきました。賛成討論の中には原案、この予算を通さなければ復興もできないという賛成討論がありました。支障なく復興できる方法として、問題のある予算を削除して臨時議会を開き議決をすれば予算の執行ができると思います。もし、予算案が否決された場合、改めて臨時議会を開くことはできるのですか。

**総務担当理事**

議員おっしゃるとおり同じ会期中に同じ議案についての採決は2度はできませんので、会期終了後に改めて臨時議会を開会いただき、予算案を審議することができます。

**防災拠点施設の建設**

**議員**

防災拠点施設は、最大880人避難数とお聞きしましたが、予想される地域から避難するまでの一番時間のかかる方はどれくらいと予想されていますか。

**防災担当理事**

対象としている地域は、12分以内で避難が可能と想定しています。12分で津波が来ると想定されております。12分以内に避難できるよう避難路の整備にも努めています。

**議員**

地震が起こって12分ですよね。夜中に地震が起こって職員は何人来れますか。

**防災担当理事**

基本的には避難所対応マニュアル等で検討しています。

**議員**

予想外の災害が起こった場合、ここに避難した方はどこへ逃げるのですか。

**防災担当理事**

基本的には、県が示した鶴殿港で10・09日、国の示した9・6日等の津波の想定で整備を進めています。

**議員**

参加した研修会では専門家の方が、自然災害にはこれで安全ということがないので、それでダメだったら次はどうするのかということを考えて、想定をしないといけないという話でした。やはりもつと精査してこれがダメだったらどこへ逃げるということを構築して、防災拠点施設を検討しなければなりません。地震の場合はすぐに自衛隊も来てくれません。どこか安全な防災拠点をつくり予想外に津波が来ても指示できるところが必要だと思います。

**中学校卒業までの医療費の無料化**

**議員**

中学卒業までの医療費の無料化についてはいつから実施しますか。

**福祉課長**

今の段階でいつからという時期は明言できませんが、きちっと検討し、しかるべき時期に報告したいと思います。

**町長**

前向きに考えてまいりたいと思います。

※この他に、重症心身障がい者の療養介護施設の設置について、男女共同参画について質問がありました。

**町有林の活用**

**議員**

紀宝町有林の面積、樹種、林齢、蓄積について伺います。

**総務担当理事**

町有林面積 263・2ha  
林業経営面積 180・3ha  
官公造林 34・0ha

計 214・4ha  
材積  
スギ 2万5359m<sup>3</sup>  
ヒノキ 2万1450m<sup>3</sup>

計 4万6809m<sup>3</sup>

林齢は、40年生から75年生。鮎田ヲダ尾団地は、平成21年度、22年度利用間伐を実施し、飯盛保育所、井田保育所建築材を供給しました。

**議員**

町職員で、山林所在地を把握していますか。林業は息の長い産業でその養成方針は。

**総務担当理事**

総務課、財産管理係で作業箇所へは行きますが全体は把握していません。監守人もおり、人材の育成に努めます。

**議員**

今年度下山団地で利用間伐を行いますか今後の予定は。

**総務担当理事**



庄司 健 議員

- ・町有林の活用について
- ・町有林材の活用について



国の造林補助制度の改正もあり、今後、森林経営計画を作成して認定を受けることが必要となりました。

### 議員

住宅周辺の小規模な林地で葉が落ちる、日陰になるなど伐採の依頼が来ていますが、払い下げ処分はできませんか。

### 総務担当理事

広葉樹が大きくなり、枯葉や枯木が大変ご迷惑をかけています。その都度対処していますが、払い下げの希望があればそうさせていただきますか。

### 議員

木材価格の下落で、木を売り補助金を受けても赤字です。それでも事業は進めますか。

### 総務担当理事

森林を持つ責務と行政経費から検討し対処します。

### 議員

町面積の4分の3をしめる森林の集客交流への活用は。

### 企画調整課長

森林浴によるリフレッシュ効果や、ウォーキングによる健康づくりなど森林空間を活用した集客交流が注目されて

## 町有林材の活用

### 議員

飯盛保育所、井田保育所は、町有林材を含む木材多用の施設ですが、評価はどうですか。

### 福祉課長

木の香りと温かみがあり夏涼しく冬暖かく、安全性も良好で高い評価を得ています。

### 議員

学校への木材使用実績および使用予定について。

### 教育課長

小中学校校舎への町有林材使用の実績はありません。新築中の成川小学校は、県産材仕様の設計にしています。

### 議員

公共建物の災害復旧工事における使用実績について。

### 福祉課長

相野谷保育所、通園めだかはヒノキ材をふんだんに使用し明るい施設に復旧しています。

### 議員

大里、津本避難所の木材使用の方向性は。

### 防災担当理事

価格の関係で予算、設計士

とも相談して進めていきます。

### 議員

住宅建築産業は裾野の広い産業で、町内でも多くの方が従事されています。そこで町有林材を、町内で住宅を新築する方に、10立方メートル提供するという取り組みは可能でしょうか。

### 町長

森林資源は有効に活用していかなければならない。木材を使用した保育所では、保護者

の方にも評価が高く、これが木材見直しのきっかけになればと思います。提案については、十分検討してまいりたいと思っています。



平成24年第2回定例会

## 次回定例会の予定

9月18日（火）開会予定です。  
傍聴は議会議務局で受付ています。

## 議会生中継について

公共施設5カ所のロビー等において、町議会本会議の模様を生中継していますので、議会日程をご確認のうえ、ぜひご覧ください。

- ① 役場本庁舎
- ② 生涯学習センターまなびの郷
- ③ 福祉センター（鶴殿）
- ④ 保健センター（神内）
- ⑤ 相野谷診療所

※放映時間については、当該施設開館時間内となりますので、ご了承ください。

## インターネット録画中継について

町議会では開かれた議会を目指して、平成23年6月定例会分からインターネットによる録画中継を実施しております。映像をご覧いただくには、

◎ 紀宝町ホームページ↓「町議会情報」↓「インターネット議会中継」をクリック

## 可決された議案（6月）

- 工事請負契約の締結（林道桐原浅里線2・3・4号箇所災害復旧工事、林道桐原浅里線5号箇所災害復旧工事）
- 農業委員会委員の推薦
- 議会推薦の農業委員会委員を4人とし、有城安子さん（井内）、萩尾高子さん（鶴殿）、奥地義郎さん（成川）、石本祐也さん（井田）を推薦しました。

### ● 専決処分の承認

- 紀宝町税条例の一部改正
- 紀宝町国民健康保険税条例の一部改正
- 平成23年度一般会計補正予算（第12号）
- 平成23年度特別会計補正予算（2会計）
- 平成24年度一般会計補正予算（第1号）
- 平成24年度井内地域開発事業特別会計補正予算（第1号）
- 紀宝町課設置条例の一部改正
- 紀宝町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正
- 紀宝町手数料条例の一部改正
- 紀宝町福祉医療費の助成に関する条例の一部改正
- 三重県後期高齢者医療広域連合の規約の一部変更
- 平成24年度一般会計補正予算（第2号）
- 平成24年度井内地域開発事業特別会計補正予算（第2号）

## 意見書（6月）

- 「防災・減災ニューディール」による社会会基盤再構築を求める意見書
- 再生可能エネルギーの導入促進に向けた環境整備を求める意見書

## 編集後記

昨年の台風12号災害から、1年が過ぎようとしています。今は、被災した箇所を現状復旧することに一生懸命ですが、並行してやっつけなければならぬことがあります。それは人と人とのつながりづくりです。いくら頑丈な堤防を造っても、絶対安全ということはありません。しかし、先人の教えを守り、そこに住む人が知恵を出し合い、助け合うことによって大きな災害を切り抜けることもあります。過去の大地震や風水害から何度も日本が立ち直ってきたのは、頑丈な箱もののおかげではなく、どんな災害でも、手に手を取り合い、対応できるしなやかさがあつたからだと思います。希薄になってしまった人と人とのつながりを今一度「向う三軒両隣」の精神で構築していくことが、防災対策の要だと私は思っています。

（文責 塩野）

「議会だより」（第23号）

編集委員

塩野 真

矢熊 達雄

高垣 操男